

令和6年度第1回富岡甘楽地域保健医療対策協議会 病院等機能部会及び地域医療構想部会
議事録

- 1 開催日時 令和6年6月20日(木) 19:00～20:00
- 2 開催場所 富岡合同庁舎大会議室
- 3 出席者 構成員6名、公立富岡総合病院関係者1名、事務局7名

4 開会

5 議事

- (1) 富岡保健医療圏における病院の開設等に係る事前協議の審査方針(案)について 資料1,2,3
事務局から説明。構成員からの質問・意見はなし。
承認される。

- (2) 地域医療構想に係る構想区域の設定について 資料4,5
事務局から説明。構成員からの質問・意見はなし。
富岡保健医療圏は「推進区域に設定しない」ことについて確認を得る。

- (3) 公立富岡総合病院の病床再編について 資料6
公立富岡総合病院から説明。

コロナの専用病棟を用意していたが、コロナがほぼ終了し落ち着いてきているため病床が余っている。2つの病棟を一つにする(60を上限とする)。コロナの時には補助金をいただいていたが、令和5年度は赤字になる。入院患者が減っていることは全国的な傾向。入院患者が減っているため、病床利用も減っている。

必要病床、基準病床が現実よりは多い数字ではないか。基準病床や必要病床を見直していかなければならないのではないか。コロナの入院患者はいつ起こるかわからないため、コロナ専用の病床は確保する。入院患者が少なくなる中、病院経営を考えた時には、病床を減らす、地域のニーズには十分対応できるようにしていきたいと考える。その結果として22床を減少することが望ましいと考える。

【基準病床数及び必要病床数について】

(医務課)

基準病床数及び必要病床数については他の医療圏でも疑問・御意見が多々ある。基準病床数は医療法で規定されている整備すべきベッドの数であり、整備の上限に対して、実際に整備されている既存病床数が基準を上回るか下回るかということである。第6次計画以降は、基準をベッドが上回っているため、ベッドの整備ができない状況にあった。令和6年4月からの第9次計画にあたり基準病床数を計算し直したところ上限が増えた。ここ数年地域医療構想では国から病床を減らすような方針があったため、それと反するため混乱が生じた。国が定めている計算式では国が示した基準(将来人口推計)によって機械的な計算では基準病床数が増えたところは全国的に多くなっている。

必要病床数も医療法に規定されている。地域医療構想が医療法に規定されてから出てきた概念である。2025年の必要病床の量についてであるが、基準病床と比べると計算方法が粗い。2025年の医療需要を2013年当時の性・年齢階級別の入院受療率から考える。将来人口推計に左右され数字が変動する。これにより回復期が足りないのはどうなのか、急性期を減らしても大丈夫なのかと疑問を呈されることが多い。現在国で議論しているが、2040年をターゲットとした地域医療構想を今後議論することになる。前提の置き方によって地域の状況や議論とずれてしまうことにならないかといっている。各医療圏によって現実との乖離があり医療圏の医療需要・

経営の観点から地域の実情に応じて医療提供体制が最適な形となればよいと医務課としては考える。

(公立富岡総合病院構成員)

人口動態は国が予想したよりも遥かに早く減少に転じている。高齢の日本人の平均寿命というのは少し下がってる。予想よりも変化が激しいし速い。国は病床を減らそうという方向で例えば平均在院日数を絞ったり基準を上げたりということで制度上は厳しくなっている。それを実行すると当然病棟・病床数が少なくなってくるし、診療時間もそうである。病床にゆとりがあった方が楽であるが一方でそれだけ人員を配置しなければいけない。現実問題例えば一つの病棟と病床にたった一人入っていても、いろんな方面からの制約とか決まりがあり、ゆとりがあると楽であるがお金がかかるため経営面では厳しくなってくる。その結果高齢者の減少よりも早く入院患者数が減っていくというのが現状である。必要病床は実は現場ではあまり関係がないが、現場を見ると示されている必要病床は多いと感じ必要病床という考え方自体はマッチしてないかもしれない。急性期、回復期という分類は現実的にはなかなか難しく、現実に合わせて病棟機能を保ち病床を編成し人員を確保し経営の問題を考えられることをやってみたところ、22床の減少ということになった。

(西毛病院構成員)

病床機能の問題、必要病床数・基準病床数、現在の状況を反映しているのかと考えると違うのかなと感じている。今まで病床過剰であったので病床を増やせなかったが、非過剰となっても病床は増えないだろうと感じている。

構成員からの異議はなし。

公立富岡総合病院の病床再編について了承される。

(4) 令和6年度富岡保健医療圏における医療機能の現況について 資料7

事務局から説明。構成員からの質問・意見はなし。

4 その他

構成員からの報告・連絡はなし。

事務局からマイナ保険証等について説明・協力依頼。構成員からの意見・質問なし。

5 閉会